



報道発表

2018年2月13日

イノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合の投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田 浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社 AFI テクノロジー（以下「AFI」）（本社：京都市左京区、代表取締役：円城寺 隆治）に対する投資を実行いたしました。

○AFI への投資実行について

AFI は京都大学医学研究科乳腺外科（戸井雅和教授）との共同研究において開発した基盤技術をもとに、ラベルフリーで迅速な細胞・微生物の分離・精製を行う機器・デバイスを開発・販売する企業であり、品質検査分野、臨床検査、バイオ製品製造など広い分野でアンメットニーズを満たすオンリーワンの技術と評価されています。

今般、京都 iCAP は、2016 年 5 月のシリーズ A 第三者割当増資に引き続き、AFI の総額 4.3 億円のシリーズ B 第三者割当増資に、合同会社テックアクセルベンチャーズ（本社：東京都港区、職務執行者：安岡 伸浩）、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石橋 達史）、中信ベンチャーキャピタル株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役社長：平林 幸子）およびヤマト科学株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：森川 智）とともに応じ、リードインベスターとして 2 億円の投資を実行いたしました。

AFI は今回の資金調達により、食品微生物検査装置「エレスタ」、臨床微生物濃縮装置「エレスタコア」、細胞分離装置「エレスタソート」と各分野向け製品をエレスタシリーズとして本格的に市場投入するとともに、海外展開を開始します。

京都 iCAP は、2017 年 9 月の株式会社 SCREEN ホールディングス（本社：京都市上京区、代表取締役 取締役社長：垣内永次）、極東製薬工業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：菊地 博）との資本提携、今回のヤマト科学株式会社との資本提携等を通じて AFI がパートナー企業と大きなネットワークを形成していくことを期待しています。



株式会社AFIテクノロジー 会社概要

設立 2013年5月

事業内容 電気計測とマイクロ流路技術を用いた細胞・微生物の分離・精製機器の開発

本社所在地 京都市左京区

代表取締役 円城寺 隆治

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、2014年12月に国立大学法人京都大学の100%出資子会社として設立されました。当社は、2016年1月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする160億円のKYOTO-iCAP1号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間15年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
京都大学国際科学イノベーション棟東館 4 階
投資部 プリンシパル 兼 広報統括責任者 河野修己
TEL : 075-753-5303 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp